

所沢市立美原小学校

環境目標：地球にやさしい美しい学校づくり

～「身の回りの環境を大切にする心」を育てる～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

清掃活動や学習活動を通して、環境に対する児童の意識の向上を図った。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

主体的な活動や学習を通して、エネルギーを大切にする意識の向上に貢献している。

＜主な教育効果：主体性の育み、環境配慮意識の向上、環境保全の意欲の増進＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

＜環境にやさしい 美しい学校＞

毎日の清掃活動を通して、自分たちにできることを、地道に実践している。全校で「もくもく清掃」(黙々清掃)に取り組んできた。また、清掃時のバケツ利用を促し節電・節水に取り組むとともに、燃やせるごみとプラごみの分別の徹底にも取り組んでいる。

4年生の総合的な学習の時間では、『環境について考えよう』のテーマのもと、SDGsの学習に取り組んだ。17の目標の中から自分で課題を見つけ調べ、Chromebookを活用してスライドにまとめ発表した。調べた結果、地球温暖化や森林の減少、ゴミ問題と食品ロスの問題など、自分たちの生活と深くかかわり身近な問題が多いことに気づくことができた。学習を通して、「世界には満足に食べ物が食べられない人がたくさんいる。食べ物を大事にしていきたい。」「限りある地球の資源をどう使っていけばよいか。持続可能な資源の消費の仕方について考えていきたい。」

「森林破壊が絶滅危惧種を増やしている。私達にもできることは何か考えていきたい。」など、環境問題を自分事として捉えて解決していこうとする意識が高まった。

2 《みどり・生物多様性》

正門と校舎南側の花壇は、特色ある学校づくり支援事業・愛校会の援助を受け、季節によって彩り豊かな花々を計画的に植えた。飼育園芸委員会が中心となり、花壇の水やりや草むしりなど行い、みどり豊かな環境づくりに取り組んでいる。



2年生は「学校農園」で夏野菜やサツマイモ、だいこん等の栽培に挑戦した。保護者の協力を得ながら収穫した野菜で調理実習を行い、収穫を祝うことができた。

3 《資源循環》

給食委員会は、栄養技師の力を借りながら残菜を減少させる取り組みを行った。1年生で食育の授業を行ったり、給食の配り方や「食べる時間」を長くしたりするなどの工夫をした。残食量結果を掲示で知らせ、「楽しく」「残さず」食べる努力を続けている。